



発行
加賀保護区保護司会

事務所
加賀市大聖寺南町
二 11-5 番地
TEL (0761)75-7428



令和 6 年度年次総会 市長祝辞 (4 月 23 日)



地域援助について

金沢保護観察所長

三角 元

能登半島地震によって、更生保護関係者におかれましては、ご自宅の倒壊など大変な被害に遭われ、今なお、避難所生活を余儀なくされている方々に、衷心より深くお見舞い申し上げます。早期の復旧を心から祈っております。

また、この震災に対し、当加賀保護区保護司会をはじめ、金沢以南の四保護区、全国各地の更生保護関係者の皆様から多大なご支援を賜りました。心から感謝の意を申し上げます。

更生保護を取り巻く状況に目を向けますと、令和5年12月に更生保護法等が改正され、刑執行修了者等に対する援助として「地域援助」が明確化され、本年度の更生保護行政の重点事項に「息の長い社会復帰支援の推進」等を掲げております。

これまで仮釈放者が期間満了となった場合は、担当した保護司さんは、元保護観察対象者が困った時に、近隣の住民として相談に乗っております。しかし、今般の法改正によって、元担当保護司として、相談内容を保護観察所の担当窓口へ繋げ、元担当保護司と連携しながら、地域支援ネットワーク（地方自治体、福祉等）に繋げていき、少しの躓きによって、再犯に至らないよう支援していく枠組ができました。

震災の復興が最優先ではありますが、加賀保護区保護司会の皆さんと連携しながら、少しでも犯罪が起きない、再犯させない加賀市をめざすため、皆様のお力をいただきますようお願いいたします。

石田雅樹氏
大嶋茂氏の
紺綬褒章のお知らせと謝辞

加賀保護区保護司会
会長 日下 賢城

この度、小松市の医療法人社団
仁志会理事長、石田雅樹先生、並
びに加賀保護区保護司会副会長の
大嶋茂氏が紺綬褒章の栄に浴せ
られました。

この褒章は、日本政府が、公益
のために私財(五〇〇万円以上)
を寄付された個人や団体に授与す
る栄誉の一つです。昨年、日本更
生保護協会にお二人で一千万円
ご寄付をなされて、この度の褒賞
授与の運びとなりましたことを、
ここに報告申し上げます。

尚、石田先生は小松在住であり
ながら、大嶋副会長の更生保護活
動に賛同されて、加賀保護司会の



後援になればとご厚意を頂いて
おります。

これ以外にもお二方は、毎年石
川県更生保護事業協会に寄付をな
されておられます。

ここに、加賀保護司会会員一同、
その崇高なご懇念に衷心よりお礼
申し上げますと共に、更生保護活
動に愈々精励する事をお誓いして、
お礼の言葉に代えさせて頂きます。
尚、感謝状並びに記念品贈呈式は
六月の第一例研修会に予定して
おります。

令和五年度
自主研修会について

研修部長 中谷 香代子

令和六年二月二十九日、加賀市
市民会館第二会議室にて自主研修
会が行われました。参加者十八名、
講師は元保護司 田中源基氏、江野
政明氏、木村勝保氏の大ベテラン
の三名の方にお願いしました。

三グループに分かれ、講師を中
心として、中学三年男子の薬物事
犯の事例をもとに活発な話し合い
が行われました。自分の担当した
対象者の事、対象者との距離感、
家庭環境、今どきの子供達とか、
さまざまな意見が活発に出て、と
ても有意義な研修会となりました。
諸先輩の話はうなづくことが多く、
今後とも、このような研修会があ
れば良いと思いました。



新担当保護監察官紹介
御挨拶
金沢保護観察所保護監察官
澁谷 星香

加賀保護区の保護司の皆様、関
係機関・団体の皆様、日頃から更
生保護に御尽力いただき、誠にあ
りがとうございます。

これまで名古屋保護観察所に
勤務しており、昨年度から金沢保
護観察所に勤務しております。今
回、加賀保護区の皆様とご一緒で
き大変光栄に思います。



自主研修に参加して

片山津分区 下出 美香

二月に参加した自主研修会は、
私にとって非常に有意義な勉強会
でした。

先輩保護司からの事例発表、ケー

私は、大学時代に心理学を専攻
しており、複雑な環境によって形
成された精神状態や、それによる
社会への生きづらさの現実を講義
や実習で学びました。そういった
人達に、少しでも力になりたいと
いう強い思いを持ってこの分野に
入って五年目になります。保護観
察官としては二年目であり、日が
浅く未熟ですが、何事も全力で励
みたいと考えております。

今後とも、御指導、御鞭撻のほ
どよろしく願いいたします。

スタディは特に勉強になり、良
かったです。先輩のリアルで実践
的な経験から学ぶことができ、自
身のスキルや知識を向上させるこ
とにつながると思います。

私はまだ保護司としての経験が
浅いため、このような勉強会は今
後も積極的に参加したいです。先
輩たちとの交流や意見の共有は、
私のような経験の浅い保護司に
とって非常に重要だと思いました。

これからも、保護司としての責
任をしっかりと果たすと同時に、
地域社会との結びつきを深め、子
どもや家族の幸せな未来を共に築
いていきたいと思っています。そ
のためには日々の学びと努力が必
要です。研修会で得た知識や経験
を活かし、現場においてより良い
支援を提供できるよう努めてまい
ります。

退任のご挨拶

私の保護司生活を振り返る

大杉欽一郎
(大聖寺分區)

この五月で平成二年より三十四年間に在籍した保護司を退任することになりました。

四十三才より七十六才まで様々なことがありましたが、保護司会の皆さんには長い間あたたかいご指導やご支援をいただき、ありがとうございました。

最初の十年間はがむしゃらに保護観察に取り組みました。ちょうど自分も子育ての真つ最中で、担当した対象者が普通の家庭の子たちで、保護者も私の知り合いが多く、面接を通してわが子との接し方に随分と悩みました。

平成十三年から二十三年までの十年間、家庭の事情により活動を中断していましたが、田中源基氏が会長就任の際に再開、研修部長として運営のお手伝いをさせていただきました。平成七年から中断していた他県の保護司会との交換研修に取り組み、岐阜、松本、坂井(福井)、西知多(愛知)、若狭、観音寺(香川)、奈良との研修を行いました。交換研修では故山口浩市氏のご指導のもと、他保護区から多くのことが学べたと思います。平成二十九年に会長に就任し、七十周年記念事業に取り組みまし

た。木村勝保氏に編集長をお願いした記念誌『明日を信じて』は、先の五十周年記念誌以後の二十年をまとめましたが、保護司会の広報誌とする編集方針と見やすくカラフルな出色のできばえで、誇りに思っています。

又、記念事業としては映画「記憶」の上映会を行いました。コロナウイルスの蔓延が始まり規模を縮小せざるを得なかったことは残念でした。

コロナウイルスは保護司会活動に大きな影響を与え、保護観察の活動や会合の開催に様々な制約が加わり、年次総会の開催までも中止、書面での議決になりました。しかし、教育委員会や学校のご協力により、社明運動を中断することなく実施できたことは、これまでの努力により市民の理解を得られていると心からうれしく思いました。今後ますます精進していつて欲しいと思います。

今年元日の能登半島大地震により、大変な被害が出ました。復興には長い時間が必要で、今後の私たちの暮らしに大きな変化が起これると思います。

「明日を信じて」私たちは前を向いて進まなければならないと思います。

二十八年間の保護司活動を振り返って思うこと

安田 和代
(山代分區)

元旦から五ヶ月を過ぎて尚、能登方面では余震が続いております。被災地の皆様の不安はいかばかりかと案じております。心より御見舞い申し上げます。

私は五月二十四日保護司を定年退任致しました。平成八年より令和六年まで二十八年間加賀保護司会ではお世話になりました。

実は、最初私が保護司になることには家族は反対でした。当時会長の幸先生と山代分區の野尻先生よりお誘いを受けまして、年四回の研修会に出席してもらえればよい、ということでも主人も承諾してくれました。実状では各種の行事がある中、専門部活動には積極的に出席出来ず、心苦しく申し訳なく思っております。

当時、加賀市では犯罪数が多く、担当対象者は十代から七十代まで様々な事案の中、保護観察、環境調整を行い、保護司としての任務を日々一生懸命果してきました。主人から「お母さんは保護司に向いているね」と言われるようになって心強くなりました。

後半は研修部の方々のお世話で各地の研修旅行に参加させて頂きました。見聞を広め皆様と楽し

い時を過ごせましたことを大変嬉しく思っております。加賀保護司会では素晴らしい先生方との出会いを幸福に思っております。

今後とも加賀保護司会の益々の御発展と皆様様の御健勝をお祈り申し上げます。

心よりありがとうございました。

新任保護司紹介

新任のあいさつ



前 田 浩 治
(大聖寺分區)

この度、保護司としての委嘱をお受けする事になりました前田浩治です。

町内会の役員を三年程務めており、「社会を明るくする運動」には多少ですが関わりを持っていたつもりでございましたが、保護司との関わりや保護司の活動については、認識が有りませんでした。先ごろ先輩保護司の方々からお話を聞かせていただく機会があり、誠意と真心をもった活動に感銘を受けました。

人の人生に関わる重要な活動に、私ごときがどれだけの役割を担えるか不安もありますが、先輩の皆様にご指導とアドバイスを頂きながら、務めさせて頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。



- ・(有)加納仏壇店
- ・(株)月星製作所
- ・第2なかよし丸
- ・(医)長久会 加賀こころの病院
- ・加賀商工会議所
- ・伊林永幸
- ・メガネと補聴器の店 やました
- ・(有)吉田燃設
- ・本善寺
- ・(有)プロデザイン
- ・NISSHAプレジジョン・アンド・テクノロジーズ(株)
- ・(有)奥野モータース
- ・大杉欽一郎
- ・田中源基
- ・(有)冠婚葬祭ながやま
- ・(有)興栄商会
- ・東野産業(株)
- ・(有)矢田郷商店
- ・勝光寺
- ・(有)北陸食堂
- ・稲手鉄工(株)
- ・静念寺
- ・臯月会
- ・(医)池本整形外科医院
- ・竹内電気工事(株)
- ・(株)尾山製作所
- ・(株)サイエン
- ・(株)ホテルゆのくに
- ・(株)シモアラ
- ・山中温泉料飲業協同組合
- ・山中温泉商店協同組合
- ・山中商工会
- ・上田医院
- ・(医)伊東会 鈴木医院
- ・(株)ハートフルなかがわ
- ・燈明寺
- ・梅田隆平
- ・(有)いづみや
- ・恩栄寺
- ・(株)辻酒販
- ・(有)中林鉄工所

更生保護事業活動にご協力ありがとうございました

令和五年度賛助会員名簿

犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ
第74回「社会を明るくする運動」

入場料 無料 第47回 有名作家
チャリティ作品展

2024年7月26日(金)～7月29日(月)10時～19時(最終日は15時終了)
金沢エムザ2F「エムザギャラリー」

主催：「有名作家チャリティ作品展」実施委員会
後援：第74回「社会を明るくする運動」石川県推進委員会
北越新聞社・石川テレビ放送・金沢保護観察所

金沢保護観察所 検索

令和六年度(第七十四回)
「社会を明るくする運動」事業計画決定

「社会を明るくする運動」の強化
月間を七月に迎えるのを前に実施
委員会総会が五月十三日に市民会
館で開かれ、事業計画が決定しま
した。活動項目としては例年と変
わりませんが、今年度のケース研
究会は七月十一日、東和中学校で
の開催となります。

主な事業

◇愛の封筒基金

区長会と加賀農業協同組合にご
協力頂き実施

◇啓発・広報活動

小中学生の作品募集(親子標語、
ポスター、習字、作文)

◇優秀作品表彰式

六月三十日
七月三十一日

◇優秀作品の展示

六月三十日
七月三十一日

◇於アピオシテイセンターラルコート
中学生の一日保護司活動による
街頭宣伝

六月三十日 於アピオシテイ

新任		退任	
令和6.5.25	前田 浩治 大聖寺	令和6.5.24	大杉欽一郎 大聖寺
	村田 一美 山中		安田 和代 山代

人事往來



令和6年度社会を明るくする運動実施委員会総会

- ◎リーフレット、立看板、幟旗に
よる啓発(市内各地区)
- ◎ケース研究会
(七月十一日 於東和中学校)
- ◎有名作家チャリティ作品展
(七月二十六日～七月二十九日
於金沢エムザ)